

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2013-169352(P2013-169352A)

【公開日】平成25年9月2日(2013.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2013-047

【出願番号】特願2012-35316(P2012-35316)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第一のビームが照射される被検眼の第一の範囲を設定する第一の範囲設定手段と、  
前記第一の範囲設定手段で設定された第一の範囲を除く領域に、第二のビームが照射される前記被検眼の第二の範囲を設定する第二の範囲設定手段と、  
前記第一のビームによる戻り光に基づき、前記被検眼の第一の画像を生成する第一の生成手段と、  
前記第二のビームによる戻り光に基づき、前記被検眼の第二の画像を生成する第二の生成手段とを有することを特徴とする眼底撮像装置。

【請求項 2】

前記領域は、前記第一の範囲に所定量を加えた領域であることを特徴とする請求項 1 に記載の眼底撮像装置。

【請求項 3】

前記第二の画像に基づき、前記被検眼の動きを検出する検出手段と、  
検出された動きに応じて、前記第一の範囲を補正する補正手段を更に有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の眼底撮像装置。

【請求項 4】

前記第一の範囲を走査するための走査手段を有し、  
前記補正手段は、前記走査手段の走査範囲を補正することを特徴とする請求項 3 に記載の眼底撮像装置。

【請求項 5】

前記検出手段は、  
前記第二の画像から特徴を有する領域画像を抽出する手段と、  
新たに生成される第二の画像と前記抽出した領域画像とを比較することにより前記被検眼の動きを検出する手段とを有することを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の眼底撮像装置。

【請求項 6】

前記第一の画像の分解能が、前記第二の画像の分解能より高いことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の眼底撮像装置。

【請求項 7】

前記被検眼の眼底全体の眼底画像を撮像する手段を有し、

前記第一の範囲設定手段は、前記眼底画像に基づいて前記第一の範囲を設定することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の眼底撮像装置。

【請求項 8】

前記第一の画像が眼底画像又は眼底断層画像であり、

前記第二の画像が眼底画像であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の眼底撮像装置。

【請求項 9】

第一のビームが照射される被検眼の第一の範囲を設定する第一の範囲設定工程と、

前記第一の範囲設定工程において設定された第一の範囲を除く領域に、第二のビームが照射される前記被検眼の第二の範囲を設定する第二の範囲設定工程と、

前記第一のビームによる戻り光に基づき、前記被検眼の第一の画像を生成する第一の生成工程と、

前記第二のビームによる戻り光に基づき、前記被検眼の第二の画像を生成する第二の生成工程とを有することを特徴とする眼底撮像方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するために、本発明に係る眼底撮像装置は、第一のビームが照射される被検眼の第一の範囲を設定する第一の範囲設定手段と、

前記第一の範囲設定手段で設定された第一の範囲を除く領域に、第二のビームが照射される前記被検眼の第二の範囲を設定する第二の範囲設定手段と、

前記第一のビームによる戻り光に基づき、前記被検眼の第一の画像を生成する第一の生成手段と、

前記第二のビームによる戻り光に基づき、前記被検眼の第二の画像を生成する第二の生成手段と、を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

ここで、移動量が規定値（ $\times$ ）を超えていない場合は、ステップ 311 に戻り、超えている場合は AO-SLO 装置のスキヤナの駆動に反映させる（ステップ 313 の Yes）。このスキヤナ駆動による第一の範囲の補正は検出された被検眼の動きに基づいて行われ、当該処理は CPU 201 において第一の範囲を補正する補正手段として機能するモジュール領域により実行される。また、当該補正手段は、本形態では走査手段たるスキヤナの走査範囲を補正することによって当該補正を行う。AO-SLO の撮像が終了したら、処理を終了させる（ステップ 314 の Yes）。